

登録コード	SD703200	開講年度	2026				
授業題目	アドバンス演習・実験・実習					担当教員	常盤 哲也
英文授業名	Advanced Exercise for Environmental Science					副担当	
単位数	1	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	2年
講義室				授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	各自またはグループごとに、日本アルプスやハケ岳などの山岳域およびその周辺に分布する地質体のうち、1つを選択し、既存研究を基に研究手法を学習する。また、その手法を基に現地調査を行い、現地にてその形成史に関するディスカッションを行う。						
(5)授業のキーワード	地球科学，文献調査，現地調査，ディスカッション						
(6)授業計画	8月までに対象の題材（地質体）を決め文献調査を行い，現地調査および現地ディスカッションを行う．詳細日程はe-Alpsもしくは掲示で連絡する．期末に授業アンケートを行う．						
(7)成績評価の方法	題材についての理解状況や現地調査能力，およびディスカッション能力の習得の度合いにより評価する．理解状況については文献調査の量やその理解度が，現地調査能力については，指導した調査手法の理解度が，評価の指標となる．ディスカッション能力については，論理的思考能力や表現能力が評価の指標となる．						
(8)成績評価の基準	題材についての理解度，現地調査能力，ディスカッション能力の習得に関して，極めて優れていればS（90～100点），優れていればA（80～89点），十分身に付けていればB（70～79点），身に付けていればC（60～69点）の評価を与える．						
(9)事前事後学習の内容	題材に応じた教科書や論文を用いた学習．						
(10)履修上の注意	山岳域での実習調査を伴うため，安全性の観点から事前に教員からの説明を受けることが必要であり，受講者は6月30日までに申し出ること．現地調査は相談の上決定する．なお，希望があれば実習を数日増やすことも可能である．また，宿泊（山小屋・テント等）を伴う実習であるため，共同生活や交通費・宿泊費が発生する．						
(11)質問,相談への対応	随時．						
【教科書】	題材に応じて紹介する．						
【参考書】	題材に応じて紹介する．						